

# 区政のここが聞きたい

## 一般質問と答弁 要旨

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。



### 安心して元気に暮らし続けられるために生涯学習施策の充実を

自由民主党目黒区議団 二ノ宮 啓吉 議員

#### <生涯学習施策の充実>

(1)高齢者の生きがいづくり、健康づくりの面から、所管ごとの異なる体系の中で、どのように区の役割を果たし、生涯学習施策を展開していくのか。(2)高齢者の学習意欲に対応した学習機会の提供のため、従来の「社会教育」の枠を超えた、区内大学との連携した質の高い学級講座を創設してはどうか。(3)来年20年を迎える「めぐろシティカレッジ(※)」は、緊急財政対策で支援を休止していたが、今後どのような支援を検討していく。(3)「めぐろシティカレッジ振興会」の自主性を尊重しつつ、適切な支援を前向きに検討していく。(4)改定作業を進めている生涯学習実施推進計画の中で、重点化・体系化を図り、「地域に学び、地域に生かす」学びあいの仕組み整備にも努めていく。(2)現在も区内大学等と連携し、教育機関の専門的知識・技術の集積を活用した学習の機会を提供していく。今後も、より質の高い講座を検討していく。(3)「めぐろシティカレッジ振興会」の自主性を尊重しつつ、適切な支援を前向きに検討していく。(4)改定作業を進めている生涯学習実施推進計画の中で、生涯学習施策統合化を取りまとめている。名称・役割・運営方法については、生涯学習に資する施設のあり方を調査研究していく。

**<放射線の正しい知識の普及>**  
放射線による健康影響などに慎重になりすぎて、本来の教育施策が萎縮している

と思う。(1)(ア)友好都市である角田市と気仙沼市との交流事業について、防災協定を含めた今後の方針を伺う。(イ)学校間の体験交流等について、今後の考え方を伺う。(2)学校における放射能検査に関して、区の基準について、学校給食食材の放射性物質検査の対象品目と仕入れ産地について、諸施設とプールの検査の現状について伺う。

**区長** (1)(ア)現地の状況をよく把握し、意向を聞いた上で、可能なものから実施していく。

**教育長** (1)(イ)角田市の自然宿泊体験教室は、児童の安全と保護者の安心を踏まえ、慎重に判断していく。気仙沼市の体験交流は、内容の充実を図り、双方の児童生徒に有意義になるよう検討していく。(2)子どもたちの内部被ばく等のできる限り避けるという考えで取り組んでおり、給食食材は環境省及び厚生労働省通知等に基づいて選定している。空間放射線量の測定は、全ての学校施設で約2週間毎、屋外プール水の検査は、碑小学校と五本木小学校以外の全区立小中学校プールで年2回実施している。

**<統合新校による跡地利用>**  
今後の跡地活用の考え方を伺う。

**教育長** 区民要望を踏まえた真に優先すべき施策の実現に向けて、民間活力の活用も含め多様な観点から検討していく。

**【用語解説】**  
※めぐろシティカレッジ：区民の生涯学習に貢献し、生活・文化に寄与することを目的として、めぐろシティカレッジ振興会が運営している生涯学習講座。



### 区民を守るため、安心安全の体制を強化せよ!

公明党目黒区議団 山宮 きよたか 議員

#### <危機管理の取組み>

(1)局地的豪雨の対策について、(ア)昨夏の大雨被害は当初の予測を大きく上回ったため、十分な応急対策活動ができなかった課題が明確になった。今夏、区の応急対策本部は適切な対応ができたのか。(イ)昨年比べ、区民の自助・共助を高める取組みの成果はあったか。(2)大規模水災害に備えた事前行動計画について、(ア)タイムライン(防災行動計画)(※)を早期に策定し、活用せよ。(イ)区独自の事前行動計画策定に向けた「タイムライン検討委員会」を早期に設置せよ。

**区長** (1)(ア)6月29日のゲリラ豪雨では広範囲の被害が推測されたため、翌日に応急対策本部を設置した。全庁的な体制により早急に状況把握を行うなど、適切な対応ができたと考えている。(イ)緊急用土のうの持ち出しなど、区民が自主的に防災行動をとっており、区民意識の高まりが見受けられる。(2)(ア)国が策定予定の事前防災行動計画の内容等を踏まえ、一連の防災行動を定めたマニュアルの検討を重ねるなど、本区のタイムラインの策定や活用のあり方について調査研究していく。(イ)既設置の「目黒区防災関係行政機関連絡会」における検討課題とする。

**【用語解説】**  
※タイムライン(防災行動計画)：大規模水災害の発災前から迅速で的確な対応を取るために、「いつ、誰が、どのように、何をすべきか」をあらかじめ明確しておく仕組み。

#### <地域包括ケアシステム>

超高齢化社会に対応するために、医療・介護・予防・住まい・生活支援などを切れ目なく提供できる地域包括ケアシステムの構築が重要である。区の取組みについて伺う。

**区長** 国の考え方を基本に、地域連携コーディネーター等の配置を始めとする7つの施策を展開している。保健医療福祉計画改定等に当たっては、区民の意見をいただきながら、区にふさわしい地域包括ケアシステム構築に取り組んでいく。

#### <消費者トラブルの増加>

ネット社会の進展に伴う消費者トラブルが増加しており、子どもと高齢者に被害が広がっている。区民を守る取組みについて伺う。

**区長** 子どもや高齢者のトラブル相談が区にも寄せられている。専門相談員が、解決に向けた迅速な対応をとることで、相談者の納得と安心が得られるよう努めている。その際、原因や対処法なども説明し、再発防止につながるような取組みもしている。

**【用語解説】**  
※タイムライン(防災行動計画)：大規模水災害の発災前から迅速で的確な対応を取るために、「いつ、誰が、どのように、何をすべきか」をあらかじめ明確しておく仕組み。



### 教育改革の推進、子どもの安全安心の確保など教育施策の充実を

刷新めぐろ 青木 早苗 議員

#### <教育委員会制度改革>

教育長として、(1)今回の法改正による制度改革の中で、政治的中立性等についてどのように考えているか。(2)区長との意思疎通や連携強化について、どのようなことを心がけて取組みを進めるのか。

**教育長** (1)教育行政の執行機関として、政治的中立性や継続性・安定性を確保していく。(2)制度改正の趣旨を生かし、区長との連携、協力体制の強化を図りながら、生涯学習や未来を担う子どもたちのために、教育行政のさらなる充実・発展に取り組んでいく。

#### <東京都特別支援教室モデル事業の今後の課題>

(1)利用者数の推移やモデル事業の進捗状況、今後の検討課題などを伺う。(2)本格実施となると、現在の教員体制では対応できなくなると思われるが、どのような見直しを持っているのか。

**教育長** (1)平成24年度77名、平成25年度110名、平成26年度141名である。巡回指導体制や時間数、教育内容の改善を進めるとともに教員の専門性向上を図っていく。(2)高い専門性を持った教員の育成、巡回指導体制の工夫・改善に努め、教員体制の充実について、今後も特別区教

育長会等に要請していく。

#### <イングリッシュキャンプ(※)>

(1)参加生徒の意見・感想などには、どのようなものがあったか。また、今回の実施結果を踏まえ、改善すべきことがあるか。(2)より多くの生徒が参加できるように計画が必要と考えるがどうか。

**教育長** (1)英語を使う楽しさや英語を話せることで広がる世界を感じたなどの声が多かった。今年度の課題やカリキュラム内容等を検証し、日常生活の中で英語をさらに活用できる内容にする。(2)次年度以降、参加者の増など実施規模の拡充を含めて検討を進める。

#### <いじめ問題への取組み>

(1)早期発見、早期対応が重要と考えるが、認識と具体的取組み予定を伺う。(2)いじめに関する「定期的な調査」の実施回数や内容等を検討する考えはないか。

**教育長** (1)「いじめ防止対策推進法」等

の策定を受け、区の「いじめの防止等のための対策に関する基本的な方針」策定について検討を行う予定である。(2)これまでの実施状況を十分に検証しながら、鋭意検討を進める。

#### <通学路における防犯カメラの設置>

(1)区立小学校の通学路に、防犯カメラの整備を行っていく考えがあるか。(2)仮に設置する場合、地域や保護者・PTAなどへの説明が必要だが、どのように考えているか。

**教育長** (1)東京都の補助事業を活用し、次年度以降計画的に整備を行っていく。(2)関係各課との連携を十分図りながら、説明会の実施など必要な手順をきちんと踏み、丁寧に進めていく。

**【用語解説】**  
※イングリッシュキャンプ：「生きた英語」を学び、外国人とオールイングリッシュによる体験活動などを通して英語力を高め、国際感覚を磨くキャンプ。



### 介護充実、区内業者支援など 区民要求を抑えるな!

日本共産党目黒区議団 岩崎 ふみひろ 議員

#### <介護充実への取組み>

(1)2018年度に開設予定の特別養護老人ホーム増設について、区は「計画の前倒しや定員、規模の拡大について再度検討を行う」としていたが、早期の増設に踏み出せるかどうか、状況を伺う。(2)「新たな介護予防・日常生活支援総合事業」のもとで、要支援者が専門職のヘルパーやデイサービスを望む場合には、必ず本人の意向を尊重すべきだがどうか。(3)区の介護保険料の抑制策と、区独自の介護サービス利用料の軽減策を、5%支援から7%支援へと引き上げるべきだが、考えを伺う。

**区長** (1)特別養護老人ホームの待機者は多く、整備は喫緊の課題である。実施計画改定及び第6期介護保険事業計画策定等の中で、国公有地等の活用、建設費補助、民間活力の活用など、早期増設を含めた検討を進めている。(2)「専門的なサービスを必要とする人には専門的なサービスの提供」が行われるため、認知症の人の介護サービス低下にはつながらないと考えている。(3)低所得者への弾力的な所得段階の設定や区独自の保険料減額制度の継続を検討する。軽減策は、適正な利用者負担の観点から、今後適切に判断する。

**<区内業者の仕事確保と契約改善>**  
(1)総合評価方式による入札の本格実施と、地域貢献度を防災をはじめ環境、雇用など評価項目を広げるべきだがどうか。(2)住宅リフォーム助成制度の予算

拡大と、環境配慮型やバリアフリー改修、門扉や外構、及び個人の住宅と直結している店舗、事業所も助成対象とすべきだがどうか。

**区長** (1)総合評価方式の入札件数が少ないことなど、十分な検証を行うためには、さらに試行を継続する必要がある。地域貢献度は防災協定の締結の有無を対象とし、他自治体の事例なども参考に、引き続き調査・研究していく。(2)予算を超過した場合は、補正予算等で適切に対応する。今年度からバリアフリー化の工事等も助成することとしたが、より多くの区民に居住水準の向上を図ってもらうことは困難である。

#### <1,900人への常勤職員削減計画>

目黒区はさらに今後180人の常勤職員の削減を計画している。これまで福祉、子育て、教育業務含め、民間委託や指定管理者制度導入、常勤職員の非常勤職員への置き換えが進められてきたが、福祉、教育、子育てにかかわる常勤職員の削減は見直すべきだが、見解を伺う。

**区長** 平成19年に策定した「中長期の定数管理の考え方」に基づき、具体的な目標を掲げて計画的に取り組んでいる。行政が直接担わなければならない事業に重点的に人材を配置し、新たな行政需要や喫緊の課題に的確に対応してきた。福祉などの部署であることだけを理由に職員の削減を見直す考えはない。



### 医療・介護と運動・スポーツを トータルデザインせよ!

自由民主党目黒区議団 佐藤 昇 議員

#### <地域包括ケアシステムの構築>

(1)在宅療養の推進(ア)24時間巡回・随時対応型訪問介護看護をより推進せよ。(イ)在宅療養支援窓口の活用や地域包括ケアシステムの推進に全庁的・横断的に取り組め。(2)介護予防の推進(ア)介護予防には、地元の人的資源の活用や企業との連携が必要である。目黒区独自のアイデアで取り組め。(イ)家から外に出て、会話をし、笑顔で食事をするのが一番の介護予防である。介護予防教室や講習会を、区民がより選びやすく、多く活用できるように工夫をせよ。(ウ)「自分で自

分をチェックできる」認知症対策のきっかけづくりを、介護予防事業やイベント等で行い、それを継続せよ。(3)身近な地域で安心して相談できるように、愛称やイメージキャラクター等を使い、地域包括支援センターへの認知度をアップさせよ。

**区長** (1)(ア)介護事業者やケアマネジャーのサービスに対する理解が不十分な面がある。介護事業者連絡会等でサービスについて周知し、利用者増に努める。(イ)支援窓口で蓄積した知識・情報を共有するため、地域包括支援センター職員



### 東山小改築入札で大損、11億増補正の責任は青木区長

無所属・目黒独歩の会 須藤 甚一郎 議員

#### <東山小学校改築工事の入札不調は、なぜ>

区立東山小学校改築工事の一般競争入札で、3回連続で落札業者なしの入札不調が起きた。そのため工事予定が半年以上も遅れ、改築の資材、人件費が急騰しており、平成27年から28年の改築費を31億2,700万円余から約11億1,000万円余もアップし、42億3,800万円余に補正し、4回目の入札を行うことになった。工事が遅れ、建設費が高くなった原因は、これまで適正な入札予定価格を設定しなかったからだ。その最終的な責任は、青木区長にある。そこで青木区長に質問する。(1)3回連続の入札不調は避けられなかったのか。(2)予定価格の算出はどの部署でやったのか。(3)地方自治法施行令の規定で、再度落札者がいない場合、随意契約できるが、なぜ、やらなかったのか。(4)3回も入札不調をどうして区議会、区民、学校関係者に十分に情報提供しないのか。

**区長** (1)入札不調の後、契約内容や入札条件など、そのつど見直しながら、適正な対応に努めてきた。3回の入札が不調に終わったことは誠に遺憾であるが、契約事務の原則などを踏まえながら適切な対応に努めた結果であり、やむを得なかったものと受け止めている。(2)教育委

員会が予算化し、予算の執行委任を受けた施設課で積算した。労務費は国の公共工事設計労務単価、材料費は都が定める積算標準単価表、これらに含まれないものは、できる限り実勢価格を反映した積算を行った。(3)改築は優先的案件ではあるが、耐震性などの安全面から直ちに対応が必要という状況ではないこと、工事規模が大きく、極力公正な競争のもとでの業者選定が望ましいことなどから、工事内容や予定価格等を見直し、改めて入札に付した。(4)近年にない大型案件のため、開札のつど正副議長や所管委員会の正副委員長、各党派幹事長などへ、いち早く情報提供を行った。教育委員会では、所管委員会への報告とともに保護者、地元団体等へお知らせをした。

#### <区長は集団的自衛権行使に賛成か反対か>

憲法99条は、天皇から公務員まで憲法尊重擁護義務を定めている。青木区長は集団的自衛権行使容認の閣議決定に賛成か反対か。

**区長** 「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」の報告書を受け、7月1日の臨時閣議で「国の存立を全うし、国民を守るための切れ目のない安全保障法制の整備について」決定した。(持ち時間終了)



の研修を実施するなど、在宅療養の支援体制の強化を図る。(2)(ア)様々な団体等への情報提供や協議の場を設けるなど、地域資源の活用について十分検討していく。(イ)利用者アンケートを踏まえ、一層の工夫と改善を図っていく。(ウ)チェックリスト入りパンフレットや「介護予防通信」等の配布、区ホームページへのチェックリスト掲載などにより、認知症の気づきのきっかけづくりに力を入れていく。(3)イメージキャラクターの「まもりん」は、のほり旗の設置、チラシ・PRグッズの配布などで従来から活用している。今後も様々な機会をとらえて、認知度を高めるよう努める。

#### <スポーツ行政>

(1)子どもから高齢者までの生涯にかかわる、健康・福祉・介護予防・地域コミュニティと、運動・スポーツとの関係を、スポーツ行政の枠を超えて連携させよ。(2)目黒区にはバスケットボールやバレーボール等ができる体育館やサッカーや野球等ができるグラウンドが少ない。第四中学校の体育館やグラウンドは、地域も多くの方が利用している。第四中学校の跡地等をこれまでどおりの学校開放事業として確保せよ。

**区長** (1)区民まつりでの子ども広場の運営協力、スポーツまつりでの関係所管との連携、ラジオ体操などの普及啓発が、従来に増して密になった。今後とも連携を一層深め、より効果的に事業を展開していく。(2)学校の校庭と体育館は、地域のスポーツ・レクリエーション活動の場であり、代替地の確保は、財政的、立地的に困難な側面がある。今後の需要や財政負担等も見極めながら、跡地活用の方向性が決定するまでの暫定利用について、課題の整理・検討を進める。

### 請願・陳情の受付についてお知らせします

請願・陳情は区政に関する事柄等について、区民の皆さんが直接、区議会に要望できる制度です。請願には議員の紹介が必要です。議員の紹介がない場合は陳情となりますが、目黒区議会では請願と同様に処理いたします。受付は常時行っていますが、定例会の会期中の委員会で審査するためには、事務の手続き上、会期の約1週間前(区役所が休みの日を除く)までに提出していただいています。この締切日は、めぐろ区議会だより・めぐろ区報・目黒区議会ホームページでお知らせしています。

請願・陳情は直接提出していただくことを原則とし、郵送によるものは審査しないことがあります。平成26年第4回定例会で新たに請願・陳情の審査を希望される場合は、11月12日(水)正午までに提出してください。

<問い合わせ>区議会事務局議事・調査係 ☎03-5722-9414